

蚊のいない町をつくる

協力団体(町会・自治会、マンション管理組合等)を募集

蚊の発生源である雨水マスへ薬剤を投入していただく協力団体(町会・自治会、マンション管理組合等)を募集しています。蚊の発生する時期に、区から配布された薬剤を雨水マスへ月1回入れていただく作業です。申込後に保健所が雨水マスを調査し、3月に開催する説明会で使用方法等を説明してからお渡します。薬剤は、蚊のさなぎから成虫への羽化を防ぐ効果があり、また、他の生物に対して毒性が極めて低く、生態系への影響に配慮したものです。

☎(3647)5862
FAX(3615)7171

☎(3647)5862
FAX(3615)7171

北砂三・四・五丁目地区 不燃化セミナー

火災に強いまちづくりに向けて

1/25(土)

近年、台風の強大化や局地的大雨などによる水害が甚大化しています。しかし、火災による被害も記憶に残っているのではないのでしょうか。

平成28年に発生した新潟県糸魚川市の大規模火災は、地域に甚大な被害を与えました。この原因の一つが、木造住宅の密集であったとされており、その改善の必要性が再認識されました。

江東区でも、北砂三・四・五丁目地区で木造住宅の密集改善に向けた、建物の不燃化促進や防災生活道路の整備を進めています。

この不燃化まちづくりを一段と加速させるため、主に地区の方々を対象とした不燃化セミナーを開催します。

セミナーは、「講演会」と「建替え相談会」の2部制となります。講演会では、「あなたの「まち」は大丈夫？」と延焼シミュレーションで分かりやすく解説し、「について講演いただき、道路整備の重要性について学びます。建替え相談会では、建替えについての不安、敷地や建築条件等の課題について、ファイナンシャルプランナーがさまざまなご提案をします。

環境学習プログラム 2月

えこくる江東 アニバーサリー月間!

2月は、エコキッズポイントが1ポイントプラスされます 時 内 下表のとおり 場 えこくる江東(潮見1-29-7) 日 1/16(木)9:00からえこくる江東に電話または窓口で ☎3644-7130、FAX3644-7135 <https://www.ekokuru-koto.jp> ※月曜は休館(祝日の場合は翌平日)

講座名	日程	内容	費用	持ち物	対象
すごろくでエコを学ぼう!	2/1(土) 13:30~15:30 ※時間内随時開催	人がコマとなって進む、すごろくゲームをしながらさまざまな環境問題について学びます。参加者同士でお題を作って解き合うワークショップもを行います! 当日直接会場へ	無料	なし	5歳~小学生15人(先着順、小学2年生以下は要保護者同伴、幼児同伴可)
タンポポの観察と切り絵ワークショップ	2/8(土) 10:00~12:00	タンポポを観察して、切り絵でロゼット(花形の装飾)をつくりましょう!	無料	筆記用具、持ち帰り用袋	小学生15人(申込順、小学4年生以下は要保護者同伴、幼児同伴可)
江戸前海苔づくり体験会	2/9(日) 8:20~16:00	網から生海苔を摘んだり試食したり、海苔すきや乾燥海苔づくり、海苔標本づくりなどを体験します 場 木更津金田の浜【集合・解散】えこくる江東	材料費1人1,000円とバス代(大人500円、小学生250円)	筆記用具、昼食、飲み物、手拭きタオル、防寒具、雨具、レジャーシート	小学生と保護者45人(申込順、保護者1人で小学生2人まで参加可)
土の中の生き物をのぞいてみよう	2/9(日) 10:00~15:30	土の中の生き物を、自分で作った道具で採取して、顕微鏡で観察します。	無料	筆記用具、帽子、雨具、昼食、飲み物、虫よけスプレー、虫さされ薬、土と落ち葉(前日または当日採集。10cm ² 、深さ3cm程度)	小学3年生以上10人(申込順、小学生は要保護者同伴)
水パワースタイルで動く船を作ろう!	2/9(日) ①10:30~11:30 ②13:30~14:30 ※同内容を2回実施	水の力で進むオリジナルの船を作り、実際に水の上を走らせる実験をします。船の仕組みや私たちの暮らしと船のかかわりについて学びます 師 和木美玲(船の科学館)	1組50円	筆記用具、手拭きタオル、持ち帰り用袋(船のサイズ10cm×30cm×12cm程度)	年長児から小学4年生までと保護者各回12組24人(申込順、幼児同伴可)
望遠鏡をつくらせて星を眺めよう	2/29(土) 15:45~18:45	ガリレオが天体観測に使っていたものと同程度の望遠鏡を工作し、星のお話を聞いた後、実際に星を観察します 師 星のソムリエ@ほか	2,080円	筆記用具、セロハンテープ、はさみ、ぞうきん2枚、持ち帰り用袋	小学生15人(申込順、要保護者同伴)

※会場について特に記載のない講座は、えこくる江東が会場です。
※同伴保護者1人が引率できるお子さんの人数は講座によって異なります。
※特に記載のない講座は、対象者以外の方(幼児等)の入室(参加)はできません。
※詳細はお問い合わせいただくか、えこくる江東ホームページをご覧ください。

男女共同参画推進センター 「好い加減人生」のススメ

あなたの極上時間をつくらう!

2/22(土)

男性のみなさん、プライベートをどのように過ごしていますか。仕事と家庭、自分一人の時間のバランスをとりたいと思っても、仕事で目一杯になっ

ていませんか。その中でも楽しむことを忘れず、いけば人生の時間の使い方も磨かれていきます。肩の力を抜いた男性同士の話り合いの中で、極上の自分時

地区外の方でも参加できますので、お誘い合わせのうえ、ぜひ、ご参加ください。

時 1月25日(土) 午後2時~4時10分 場 砂町区民館タウンホール(北砂4-1-7-13)

☎(3647)9491
FAX(3647)9009

☎(5683)0341
FAX(5683)0340

一年生になったら

「自ら学ぶ子を育てるために」親のかかわり方のポイント

小学生になったら自分から進んで勉強する子になってほしいと、親はみな思います。今回は、そんな願いを支える「親のかかわり方のポイント」を考えてみましょう。

やる気を育てる

自ら学ぶという行動を起こすのは、こどもの内面に「やってみようかな?」「できるよ」など「意欲」が湧くことが出発点です。見えない、そのエネルギーが、やる気の源(みなもと)です。

人間は誰も、けなされれば、やる気は萎みますね。小さな意欲の芽こそ、大事にしましょう。

そのためには、機を見て「ほめる」ことが大切です。「それ、おもしろそうだね」「すごいことやってるね」「かっこいい」「さすが」等、大人として、ほめ言葉のバラエティを蓄えたいものです。

これは、お子さんの「今」をよく見つける姿勢にも、つながります。

失敗は成功の基

こどもが何かうまくできなかった時、失敗した時「だから言ったでしょ」や「どうして」

親は、そう言いたい気持ちも、ぐっと押さえて深呼吸、「失敗は成功の基」と、自分の心に言い聞かせましょう。そして、次はきつとてうまくいくよと励ますことによつて、こどものがっかり感を救いましょう。

これは、出来事を前向きにとらえて自ら立ち直る力(自己肯定感・回復力)を育てることにも、つながります。

新しい方向を示す

ここの「ほめる、励ます」は意識すればできますが、「広げる」は意外と難しいものです。

こどもが学ぶ姿をよく見て、ちょっととした新鮮なヒントを繰り出す「水先案内人」のような親の存在は、こどもにとって素晴らしい人生のお手本となるでしょう。

自ら学ぶという旅に踏み出すこどもに対して、おもしろくて不思議な未知の世界への手がかりを示し、学ぶ営みに希望を灯す大人でありたいものです。

☎(3647)9676
FAX(3647)9274